

1.5T フルデジタル磁気共鳴断層撮影装置

『MAGNETOM Amira』を導入しました



++

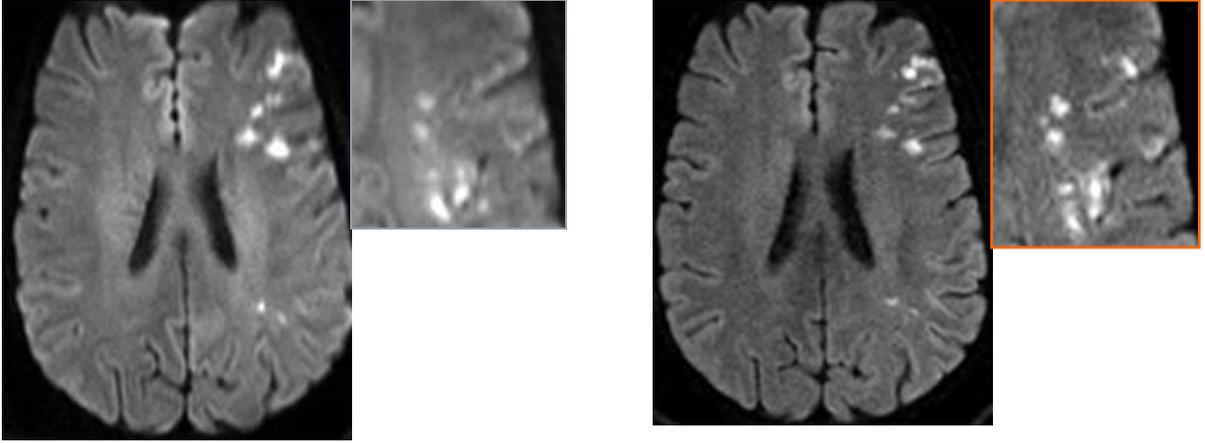
平成30年12月に、ドイツ・シーメンス社製 1.5TMRI 装置「MAGNETOM Amira」を導入しました。この装置には、最新の高感度フルデジタルコイルが搭載されており、全身で高速撮像技術であるパラレルイメージングの使用が可能になり、検査時間の短縮が可能になりました。また検査目的によっては、従来と同じ時間で、より精密な検査を行うことも可能になります。

また検査時に騒音が発生しておりましたが「QuietSuite」という静音撮像モードが搭載され、検査部位によっては従来よりも静かに検査が行う事ができるため、小児の検査などの際に安定した検査が可能になります。

本装置には、最新のアプリケーションが搭載されており、従来では難しかった検査が可能になりました。近年は拡散強調撮像（DWI）にて急性期の脳梗塞の描出に加えて、全身の癌の描出も可能になりました。但し、DWIは脳低部や乳房などの空気に接する部位では大きく歪んでしまい、画質の劣化が生じていましたが、「Resolve」という最新の撮像法により、歪みの少ない画像で診断が可能になります。

当院は乳房MRI検査にも力を入れています。乳房MRI検査は質的診断、広がり診断などに対応する有用な検査法です。そのため、より高画質に乳房MRI検査を行うために、高性能の18chマンモコイルを導入しました。前述のResolveなどのアプリケーションと組み合わせることによりさらに精度の高い検査を可能にします。

「Resolve」



Resolve OFF

Resolve ON

「18chマンモコイル（乳房専用コイル）」

